



北街道学生生活動報告会

2023.2.8 シズウエル

本日のスケジュール

19:30 開催のあたって静岡市からのご挨拶

19:40 フローラ45プロジェクトについての報告

20:00 質疑応答

20:10 フェイスプロジェクトについての報告

20:30 質疑応答

20:40 終わりに（各商店会長よりコメント）

地元民に愛される商店街を つくりたい！ 北街道鷹の市復活プロジェクト！



プロジェクト概要

DAISYとは
この5ヶ月間でやってきたこと

実施した内容

8月にやろうとした企画の参加者が0人。
そこの経験から再度9月に実施しました。

それぞれの振り返り

インターン生と担当者と振り返りを行いました。



常葉大学1年
渡邊君

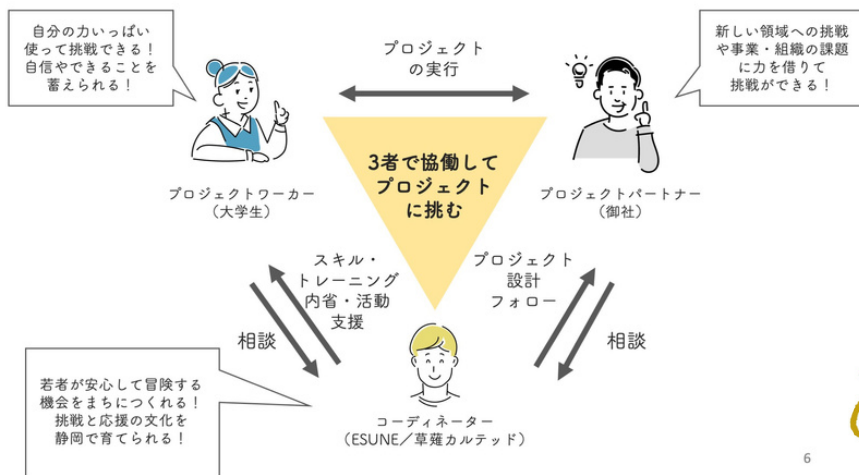
常葉大学4年
深澤君

プロジェクトオーナー：フローラ45
期間：2022年10月～2023年2月

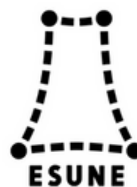
DAISYとは

プロジェクトワーカー人材コーディネート | DAISY

プロジェクトワーカー（大学生）とプロジェクトパートナー（御社）と私たちコーディネーターの3者の協働で様々なプロジェクトに取り組み、事業課題解決と若者チャレンジ文化づくりを両立させるのがDAISYの特徴です。



NPO法人ESUNE



2013年、大学生と若手社会人を中心に活動が始まったNPOです。ローカルプロジェクトと人を繋ぐ人材コーディネート事業、企業・大学と連携した教育研修事業、若者の一歩を共に作るもくもくセンター事業（ユースセンター）に取り組んでいます。

草薙カルテッド



2017年より草薙駅周辺地域のエリアマネジメント組織として設立された団体です。2021年4月よりJR草薙駅前にコラボレーションスペースTaktをオープン。様々な世代に更なる交流が生まれ、それぞれの「やりたいこと」が始まっていく場所を目指しています。

プロジェクトオーナーのご紹介

フローラ45

このプロジェクトは、フローラ45の新村さんがオーナーとして取り組みます。フローラ45は、静岡の地で、100年以上の歴史を持つ老舗のお花屋さんです。



どんなプロジェクトだったか？

プロジェクトに取り組んだ経緯

北街道商店街では 商店会が主催となり、毎月第4土曜日に商店街の歩道を使ってマルシェを行っていましたが、コロナ禍の影響により、ここ2年は中止していました。新村さんは、これからの商店街に賑わいを戻すためにマルシェイベントを復活させるべくこのプロジェクトを発足しました。

DAISYプロジェクトの流れ

メンバー募集

プロジェクト
に取り組むに
あたっての
事前研修の
実施

面談
&
マッチング

プロジェクト
の実施
(約5ヶ月)

振り返り

マルシェの様子



一緒に取り組んだ学生の紹介



渡邊匠 常葉大学 造形学部1年

■ なぜやってみようと思ったの？

北街道商店街のイベントを通じて、家族連れの方も集客したいという思いから応募しました。

高校時代には、イベントを開催したこともあります。

そこで得た学びを活かして、地域を盛り上げたいと思っています。



深澤亮太 常葉大学 教育学部4年

■ なぜやってみようと思ったの？

マルシェイベントを知人がやっており、そこに参加したことがきっかけで興味を持ちました。

今回のプロジェクトでは、主催者側に回ることで自他共に地域を知り、地元の良さを広めていきたいと思っています。

また、自分から何事も挑戦し、プロジェクト終了後には、北街道商店街の魅力を知り、人におすすめができるようになりたいと思っています。

5ヶ月間でやってきたこと



10月 フローラ45や北街道商店街のマルシェについて学ぶ

- ・マルシェに参加しました。出展店舗や商店街の雰囲気を見学しました。
- ・アンケートを実施し、マルシェに参加する理由や年齢層を調査しました。

11月 アンケートをもとに子ども参加型の企画を実行

- ・10月のマルシェ見学で体験型のイベントの必要性を感じました。商店街の目印となる看板を子どもに作っていただきました。完成したものは11月のチラシのモチーフにもなりました。

12月 商店街の飲食店2店舗にインタビューを行いました。

- ・マルシェでの出展のほかにSNS発信に力を入れました。インタビュー内容は記事にまとめ、商店街の行き方動画も作成しました。

1,2月 ショコラファンさんの物販のお手伝いとして参加しました。

- ・商店街にあるショコラファン様のお手伝いとして参加し、商店街の魅力を勉強しました。ありがとうございました。

挑戦したPOINT① 商店街を知る

アンケートの実施



商店街に訪れたお客様に向けて、アンケートの協力をいただきました。

64名の方に回答頂きました。
ありがとうございました。

インタビューに協力を頂いたのは、ご年配の方が多くを占めていました。
また、当日ふらっと立ち寄ってみたところ、マルシェが開催していたという声も多くありました。
多くの世代に商店街の魅力を伝えるために、SNS発信に力を入れていく必要性が見えました。

インタビューの実施

幸せの黄金鯛焼き様、エピキュリアン様にご協力いただきました。

お店の魅力やどういった想いで提供しているかなどお聞きしました。

マルシェを通じて、たくさんの人に楽しんでいただきたい！
インタビューをする中で、特に想いの部分を大切にされていました。



幸せの黄金鯛焼き様、エピキュリアン様
ご協力いただき、ありがとうございました。

挑戦したPOINT② 商店街の魅力を発信

10月のマルシェ見学をもとに子ども参加型の企画を実施！



商店街の目印となる看板を子どもたちに協力を得て、作成しました。完成したものは、1月のマルシェのチラシに起用されました。

インタビュー内容を記事にしました！

幸せの黄金鯛焼き

黄金鯛焼きとは...

上品な甘さの種子島産安納芋を用いた黄金のあんを使った鯛焼きです。生地の手つきと具の割合などを日々研究しておいしさを追求しています。

お店の魅力

- 季節感を意識した内装によって雰囲気の良い快適な店内空間
- クロワッサン鯛焼きやカレー鯛焼き、わらび餅など新しいものを積極的に取り入れています
- 自慢の黄金あんを用いた絶品鯛焼き

今後の目標

より多くのお客様に美味しい鯛焼きなどを提供して喜んでもらいたいと考えています。そのために静岡県内に店舗数を増やしていきたいと考えています。

店舗情報

店名	幸せの黄金鯛焼き 静岡藤原店
創業	2022年10月7日
営業時間	11:00-19:00
場所	静岡県静岡市葵区藤原1丁目2-2 新静岡駅から徒歩1分

渡邊君作

EPICURIEN

店舗情報：〒420-0839
静岡県静岡市葵区藤原1-3-5
メゾンフィール藤原 1F
アクセス
JR静岡駅より徒歩11分
新静岡駅より徒歩2分
北街道を新静岡セノバから
清水方面へ80mほど
進んだ右手側マンション1階

営業時間・定休日
ランチ11:30~14:30
(最終入店13:00)
ディナー17:30~22:00
(最終入店20:00)
定休日：毎週月曜日
(月・祝)の場合は営業
次の平日が休業日

深澤君作

商店街の魅力を届けるためには、まずは自分たちが知り、発信していくことが必要だと感じました。

記事一つでも、デザイン、フォント、サイズなどで印象が大きく変わることに気がつく時間にもなりました。何度も修正を繰り返し完成しました！

挑戦したPOINT② 商店街の魅力を発信

静岡駅から北街道商店街までの道のりを動画作成！



商店街までの行き方を動画にしました。

当日にたまたま立ち寄ってみたところ見つけたという声が多かったため、前もって知ってもらうために作成に至りました。

この案は、深澤くんが考えてくれました。もっと多くの人に来てもらうためにはどうしたらいいのかを考えて、自ら動画を作成してくれました！

インタビューと記事の作成！



YAMA no Kitchen
ヤマノキッチン
自家製ハムやサラミ、ハーブが
特徴のイタリア料理店
【定休日】
月曜日、第3日曜日（翌月祝の場合
は営業）、他不定休あり
【場所】
〒424-0803 静岡市清水区宮下町
10-47
【ウェブサイト】
<https://yamanokitchen.wixsite.com/yamanokitchen>



渡邊君作



1月のマルシェでは、各店舗へのインタビューやお手伝いをさせていただきました。ヤマノキッチン様は、渡邊くんがインタビューをさせていただき、記事を作成いたしました。

ショコラファン様は、学生全員でお手伝いをさせていただきました。ありがとうございました。

DAISYに取り組んだ感想



インターン生：常葉大学1年生 渡邊くん

■ 全体を通じての感想

マルシェを通じて、来てくださったお客様に商品を届けられることを知りました。

自分自身、ネットを通じて商品を売っているのでも、実際にマルシェで今後出店していきたいなと思いました。

■ 成長できたポイント

目的や計画を準備してから、企画に移すことの大切さを学びました。

また、チラシ作りや看板作りのアイデアも大学の授業で得た知識をもとに考えられたのでよかったです。

インターン生：常葉大学4年生 深澤くん

■ 全体を通じての感想

マルシェを通じて、普段出会えないような人たちと関わる機会があり、よかったです。

インタビューやお手伝いを通して、北街道商店街の魅力を知り、発信することは学びになりました。

■ 成長できたポイント

自分から積極的に行動に移すことでアイデアを出すことができたと思います。

商店街までの行き方を動画にすることや目印となる看板を立てることは、他のマルシェを見学したことから考えることができたと思います。



DAISYに取り組んだ皆さんの感想



プロジェクトオーナー：フローラ45 新村様

全体を通じての感想

私自身、イベントを立ち上げるのは初めての体験でした。色々な立場の様々な意見があり、まとめるのは大変でしたが、発展会会長、商店街のお店の方々の力を借りて、何とか開催までたどり着けました。

学生と関わる中での気づき

自分が大学生の時は、こんなに積極的だったかなと思うほど、真剣に取り組んでくれてとても嬉しかったです。普段は関わる事の少ない世代なので、良い刺激となりました。

静岡新聞



記念撮影



最後はフローラ45で集合写真！
ありがとうございました！！

10月のマルシェがとりあげられました！

＼お疲れ様でした／

商店街の活性化を目指し、 ゼロから創り上げる！ メディア企画立案プロジェクト



プロジェクト概要

この6ヶ月間でやってきたことを
ざっくりまとめてあります

実施した内容

取材を行い、記事にまとめました！
この経験から考えた事

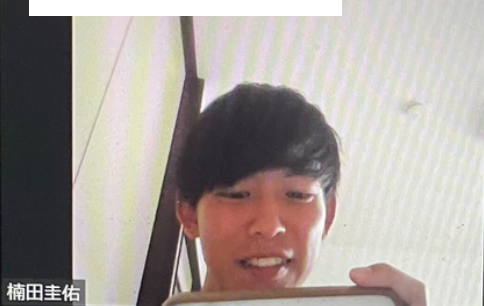
それぞれの振り返り

FAITHさんとして、初めてのインターン。
そこから得たものは？

株式会社FAITH
鈴木（社会人）

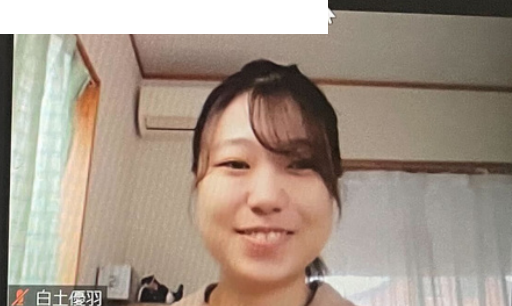


NPO法人ESUNE
楠田（学生）



楠田圭佑

静岡県立大学2年
白土（学生）



白土優羽

株式会社FAITH
片山（社会人）



NPO法人ESUNE
長谷部（社会人）



常葉大学3年
安井（学生）



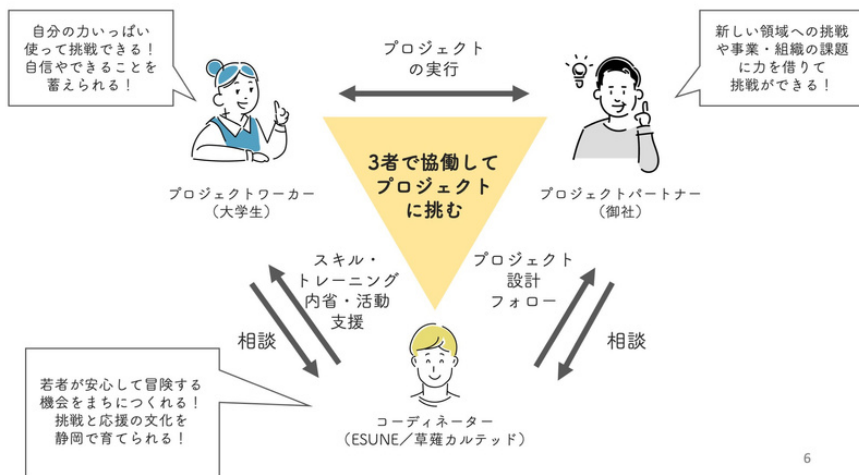
DELL

プロジェクトオーナー：株式会社FAITH
期間：2022年10月～2023年2月

DAISYとは

プロジェクトワーカー人材コーディネート | DAISY

プロジェクトワーカー（大学生）とプロジェクトパートナー（御社）と私たちコーディネーターの3者の協働で様々なプロジェクトに取り組み、事業課題解決と若者チャレンジ文化づくりを両立させるのがDAISYの特徴です。



NPO法人ESUNE



2013年、大学生と若手社会人を中心に活動が始まったNPOです。ローカルプロジェクトと人を繋ぐ人材コーディネート事業、企業・大学と連携した教育研修事業、若者の一歩を共に作るもくもくセンター事業（ユースセンター）に取り組んでいます。

一般社団法人草薙カルテッド



2017年より草薙駅周辺地域のエリアマネジメント組織として設立された団体です。2021年4月よりJR草薙駅前にコラボレーションスペースTaktをオープン。様々な世代に更なる交流が生まれ、それぞれの「やりたいこと」が始まっていく場所を目指しています。

プロジェクトオーナーのご紹介

株式会社FAITH

静岡県御前崎市の広告・グラフィックデザイン・ホームページ制作株式会社フェイスです。

あなたと周りの方々を幸せにする広告を、「信頼」と共に提供しています。



どんなプロジェクトだったか？

プロジェクトスタートの経緯

フェイスは、御前崎市に本社を置く広告代理店で、昨年初の静岡営業所を北街道商店街に構えました。フェイスは、社名の通り「信頼」を大切にお客様やその地域とよい関係を築き会社を発展させてきました。新しい土地で自社の強みを活かしながら、地域活性化にも貢献したいという思いで今回DAISYでの北街道メディア立ち上げを企画しました。

一緒に取り組んだ学生のご紹介



白土優羽 静岡県立大学 2年

なぜやってみようと思ったの？

自ら問題解決のために仲間と話し合いをして、行動に移せる人になりたいと思ったからです。その実践の場として、前から興味があった「まちづくり」に関われるこのプロジェクトは、今の自分に合っているのではないかと考えました。

安井真羽 常葉大学 3年

なぜやってみようと思ったの？

プロジェクトに参加した理由は、企画立案を行い、自ら主体的に行動することで、将来の自分自身の成長にも繋がると考えたからです。また、大好きな地元静岡で積極的になにか課題発見、そして解決をしていきたいと考えていたため、1人ではなく皆さんと一緒に作り上げていくこのプロジェクトに魅力を感じ、参加することを決意しました。



5ヶ月間でやってきたこと



9月上旬 キックオフミーティング・北街道について知る

- ・プロジェクトの方向性の確認を行いました。
- ・北街道への理解を深めました

9月下旬 北街道商店街の活性化について考えました

- ・商店街の現状や、理想について検討しました！
- ・そのうえで、商店街が解決できていない課題を設定しました！

10月~11月 具体的なメディアの検討

- ・設定した課題を解決するためのメディアについて検討しました。
- ・先行事例となるさまざまなホームページをリサーチし、検討していきました！

12月~1月 メディアのコンテンツの作成

- ・それぞれで5店舗へインタビューを実施しました！
- ・インタビューしたものを基に、それぞれで記事を作成し、メディアのコンテンツにしました。

2月 メディアの完成

- ・作成した記事を1コンテンツとしたメディアを作成しました！
- ・チームでメディアをブラッシュアップさせ、完成させました！

挑戦したPOINT① メディア検討①

■ 商店街の抱える課題をみんなで考えました。



商店街が抱える課題を考えるにあたって、そもそも商店街の活性化とは何か、何が課題なのかを、北街道の現状と理想状態を整理して考えました。

そのうえで、課題を商店街のファンを獲得することだと設定しました。

■ メディアの具体案検討しました。

北街道の課題を解決するためのメディアについて検討していきました。メディアはフェイス鈴木さん中心に作成し、参加学生は他のメディアなどをリサーチしながら、様々な意見を出していきました！

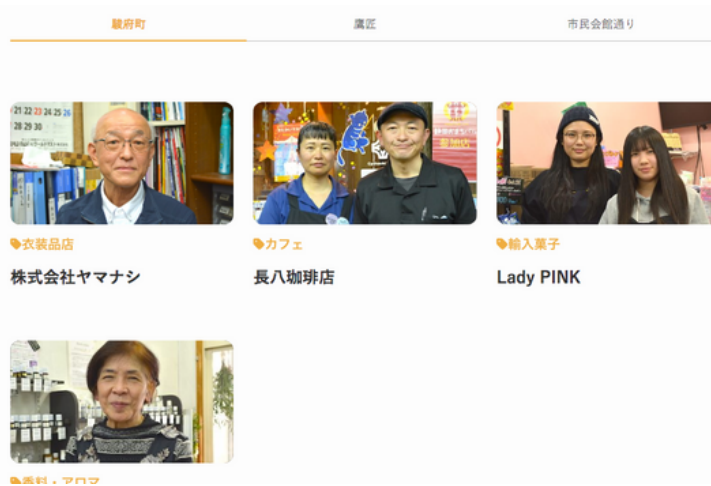
メディアの中身①

最新の情報は各種SNSからお届けしています！皆様のフォローをお待ちしています！

kitakai_shizuoka



さらに読み込む Instagram でフォロー



01_SNSのタイムライン表示部分

02_店舗一覧の画像切り替え表示・タグつけ

挑戦したPOINT② 記事の作成②

■ 約10店舗にインタビューを実施

どのような質問だと店主さんから得たい情報を聞きだせるか、どのようなインタビューの手順がいいのか、お店の魅力を引き出すためのインタビューをするためにはどのような話し方がいいのかなどを検討しました！

そのうえで、2人でそれぞれで5店舗の店主へインタビューを実施しました。



■ インタビューしたものを基に記事作成



インタビューしたものをメディアの1つのコンテンツとするために、記事を作成しました。学生それぞれでどのような記事だと、読む側がお店に行きたいと思えるかを検討し、作成しました。

■ メディアの中身②

ことなら何でもご相談ください

トレッチの効く素材を使用した製品は、特に入す。お客様一人ひとりの要望に寄り添い、無料調整・修理も可能です。は見つからなかった、あなたのための1着が手流れません。



(左)山梨社長 (右)リポーターの白土さん

[ショッププロフィールはこちら](#)



世代を問わず愛される衣料品店
株式会社 ヤマナシ

株式会社ヤマナシについて：

株式会社ヤマナシは大正13年（1924）年創業しました。当時は岡替町と1里扱うお店として商売をしていました。第二次世界大戦で男手が戦場に殉国し、昭和27年にこの北街道の駿府町でお店を構えるようになったと聞い私は、この会社の3代目になりますが、父が作業服に特化した形での事業売する事業を始めたのは、私の父が最初だったと聞いています。

ヤマナシの特徴：

私は、大学を卒業後会社に就職し2年後にこの会社を手伝うため静岡に戻に特化した会社として静岡市内や川根方面に主に外商を中心に営業してい弊社の特徴は、販売して終わりではなく、服の仕立てに刺繍などの名入れず。そのため時間や費用も最小限で対応できます。



01_店主と学生の写真を配置

02_学生のインタビューの感想とショッププロフィールを分けて配置

DAISYに取り組んだ皆さんの感想

■ 安井真羽さん



■ 白土優羽さん

■ 片山さん

大学生のみなさんとの取り組みは、日頃の仕事では実感できない角度からの新しい視点で、取材先の方々の思いや願いを引き出せたと思います。慣れない作業に対して、お二人とも一生懸命取り組まれる姿勢は素晴らしかったです。今回の取り組みを通して、静岡市の街や人の歴史や文化を少しでも知ることができ、大変有意義な活動になりました。

■ 鈴木さん

今回のホームページ制作は、このメンバーだからこそできたホームページだと実感しています。白土さん、安井さんのお二人ともしっかり自分の意見を述べていたのを見て、私自身学ぶことができました。

